

もしかすると貴方も全国のストリートミュージシャン達が口伝えてカバーしている伝説の曲『愛の唄』を聴いた事があるかもしれない。その歌のオリジネーターこそが大島圭太である。一時、死亡説まであり、一部の地域では追悼ライブまで開かれたという彼は、実は今も絶えず、地球を枕に旅をし、情熱を吐き出し続けている。彼を知る人は皆、バラードが魅力的だと口を揃えて言うけれども、実は200曲を超える彼のオリジナルソングの中で純粋な恋愛を歌っているのは「はじまりの冬」だけというのも彼らしいエピソードだ。沖縄の三線とギターをチャンブルしたという楽器、一五一会と8弦ギターを巧みに操り、美しいメロディー、美しい日本語で紡ぐ確かな歌唱力という、その一見ストレートにさえ見える彼のポピュラリティには誰もが騙され、その熱いメッセージを受け取らざるを得ない。

これまで全国流通の話を通ってきた彼を口説き落とし、珠玉の音源を残せたのは我々の大いなる幸運である。

情熱のフォークロッカー!!

大島圭太

おおしまけいた

大阪府岸和田市生まれ。現在、名古屋市に在住。一五一会(沖縄三線とギターが融合した楽器)の弾き語り、和フォークを主体として、時にモダンな音使いの楽曲を、ロック節から成す様々な表情と親しみあるキャラクターで届ける。ただ生きていくことの力強さを時に楽しく時にメロウに様々な表情で伝える。



2010年、こんな時代だからこそ、毒か薬にしかならない音楽をどうぞ。

紅白歌合戦出場希望歌手!! 大島圭太にだまされる!!

エピソード

地元・名古屋にて、2005年夏季限定でオープンされたビアガーデン「ナゴブ」(正式名称・ナゴヤ文化屋台広場)で大島が毎週のように弾き語りのライブをしていた際、常に大盛り上がりとなった人気のオリジナル曲「ビール片手に」(本人はこの曲で真剣に紅白出場を目指しています)の噂を聞いてやってきた。当時の麒麟ビールの社員と名古屋支社の社長。

彼のライブパフォーマンスと魅力的な人柄で、あっという間に社長たちとの距離は縮まり、名古屋での大島圭太企画イベントにスポンサーとして製品を提供したり、舞台上挨拶する仲にまで発展、まさに「酒を呑み交わす仲」になった。

そんなある日、大島が「どれほど自分が麒麟ラガービールが好きなのか」を熱く熱く語っていると、社長が言った。「大島君、麒麟ラガービールで1曲つくってませんか?」社内総で、全国のラガーファンからのファンレターを集めた小冊子をみせてもらって絶妙に自分自身とリンクした思いの丈が詰まっており、そこからインスパイアされ出来上がったのが、この名曲「麒麟ラガービールを飲みながら」その後、この曲は全国の麒麟ビール社内に配布されたとの事。

モアリズムとも縁の深い、今季の日本アカデミー賞最優秀脚本賞に選ばれた某監督に「この楽曲なら私、麒麟ラガービールのCM撮りたいかも」と言わしめたのは余談である。

活動履歴

1996年 日本福祉大学を中退後、全国を放浪しながら音楽活動を本格的に始め、「はなうた祭り」「でらじゃれ祭」など、数々の音楽イベントを手がけ、真に音楽を楽しむ空間を模索しながら活動する。

2004年 東海地区インディーズアーティスト40組57名による 愛・地球博公式 サポートソング「輝け未来〜この大地に僕らは唄う〜」を発起人として製作。10月より、東海ラジオ番組「スバガーラインディーズライブ」の進行役を務める。(2007年10月まで)

2005年 全国の歌い手とバトンを受け渡し合いながら意思表示するリレーツアー「music live relay」I LOVE YOU!!」をオーガナイズ。全17都道府県連動で行い、5月には地元にて10日間に渡るシンガーソングライター祭典「JAPANESE FOLKEY FESTIVAL」を開催する。(現在も継続)万博会場でのライブ等から話題を呼び、NHK「ほっとイブニング」にゲスト出演するなど、各局メディアに度々登場する。

2006年 幅広い活動してきたものの「一番の祭りは我ライブ!」ということにやっと気付く。すなわち肝心の音楽に行き詰る。そんな中、「一五一会」という楽器に出会い、新たに音楽と向き合うことを決意。ツアー活動を継続しながらサウンドリメイクに没頭する。

by ナカムラ (モアリズム)

2008年 「一五一会」での初のアルバム『あけぼの前の夕べ』を発表。9月からは (有)ケイティクラブ一五一会講師となる。またこの年、ANAチャイナゴヤンプロジェクト応援ソングを発表。ZIP FM内「ANA」のCMに起用され数々のイベントに出演する。

2009年 自主イベント「大人の学校」を開始し、「ギャングのスヌメ」「意思と脳のシンフォニー」「真・美食論」など、実のある講義を交え、大好評を博す。(現在も継続)また、「平和とロックについて TOUR」(全18箇所)を行い、本格的なツアー活動も再開。この年の10月、ブルースバンド「モアリズム」に拾われ、西日本ツアーに同行。大きな刺激と出会いに恵まれ勢いづき、その後の約2ヶ月で60本のライブを行う。

2010年 自身が絶大な信頼をよせる、ナカムラ氏(モアリズム)のプロデュースのもと「クニタチレコード」より、初の全国流通アルバム「ミスターサンシャインエブリディ」を発表。「沖縄国際音楽祭」に出演するなど、紅白歌合戦出場希望歌手として精力的に活動中。



人気曲「AV女優に恋をした」のモデルとなったAV女優の「川上ゆう」と大島圭太 (34歳)

名曲
『麒麟ラガービールを飲みながら』
にまつわるお話

アルバム作品

- 『ビビデバビデブルース』(2001年)
- 『希望の薔薇』(2004年)
- 『あけぼの前の夕べ』(2009年)
- 『紅白』(2009年)
- 自主制作 全10作

提供作品

- 2005年 東海地区インディーズアーティスト40組57名による 愛・地球博公式 サポートソング『輝け未来〜この大地に僕らは唄う〜』(発起人)
- 2008年 全日空 チャイナゴヤンプロジェクトサポートソング『チャイナゴヤン』(ZIP FM「ANA」CMに起用)



その他の主たる現在の活動

- JAPANESE FOLKEY FESTIVAL 実行委員会理事
- (有)ケイティクラブ 一五一会 講師
- K.YAIRI モニターアーティスト
- その他、番組MC、イベント司会など。

✉ Info@oshimakeita.com

OSHIMA KEITA

MR.SUNSHINE EVERYDAY

NEW ALBUM
『ミスターサンシャインエブリディ』

DQC-452
KUNITACHI RECORDS
定価 ¥2,100
(税抜価格 ¥2,000)



1. 愛の唄
2. 落書き帳でつくった紙ヒコーキ
3. サンシャインエブリディ
4. はじまりの冬
5. ビール片手に
6. 麒麟ラガービールを飲みながら
7. イノチ
8. AV女優に恋をした

アルバム参加ミュージシャン

- | | |
|---|--|
| 【モアリズム】
ナカムラ (Ch/G) アントニオ佐々木 (G)
清水エスパー光一 (P/B) ヒストン川原 (Dr) | 【Mountain Mocha Kilimanjar】
Naohito "Temjin" Yomoda (Tp)
Kunimitsu "Carlos" Ohashi (T.sax) 他 |
|---|--|

OSHIMA KEITA OFFICIAL WEB SITE <http://oshimakeita.com>